

46名、元気にスタート！

新型コロナウイルス感染症の影響により、いつもより短い夏休みとなり、子どもたちも複雑な気持ちで新学期を迎えたことでしょう。「休む子がいるのでは・・・」と心配しながら児童玄関に立っていましたが、たくさんの荷物を持った子どもたちが次々に登校し、8時までには46名全員が元気に教室に入っていました。まずは、全員そろって2学期をスタートできたことをとても嬉しく思います。



始業式では、1・3・5年の代表児童8名が、ステージ上で「2学期のめあて」を発表しました。とても緊張した様子でしたが、発表原稿を見ることなく、落ち着いて、堂々と自分の思いを伝えることができました。

また、発表を聞く態度もすばらしく、子どもたちの成長を改めて感じることができました。

私からは、1学期の学校評価をもとに、「2学期に伸ばしたい根っこ」の話をしました。

○豊かな心:礼儀

1学期の生活アンケートから、「あだ名」で呼ばれる子どもがいることが分かりました。また、休み時間などには、「友達に命令するような言葉使い」が聞かれることもありました。そこで、自分の思いを伝えることの大切さとともに、その伝え方が大事であることを話しました。

自分の思いを伝えるためには、「大切な名前」で呼んで「優しい言葉」を遣うことを丁寧に指導していきます。

○確かな学力:協働

1学期の授業中の姿から、子どもたちが問題解決に真剣に取り組んでいることがよく分かりました。これは、「自分一人で考える学習」です。2学期は、さらに「みんなで考える学習」に力を入れたいと考えました。そのために大切になるものは「聞くこと」「話すこと」です。

友達の発表を聞くときには、自分の考えと比べながら聞くこと（同じ・似ている・違う・よく分からない）、友達の意見を聞いたら、自分の考えを伝えることを大事にしていきます。

小規模校のメリットを生かして、一人一人の子どもが自分の考えを伝える機会をたくさん作っていきます。

○健やかな体:努力

「盈たして進む」ために大事なことは「努力を続けること」です。努力をするには、「自分で目標を決めること」が大切です。次に、「目標を忘れない」ということです。そのために、毎日、自分の目標と自分の姿を比べることが大切です。できた日もあれば、できなかった日もあると思いますが、「がんばろう！」という前向きな気持ちをもって取り組んでほしいと思います。



コロナ禍において、様々な活動が制限され、これまで通りとはいきませんが、子どもたちの活躍の場をなくすことがないよう、じっくり全力で取り組んでいきます。

保護者の皆様、地域の方々には、これまで同様教育活動に対するご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。